



# 第 1230 回例会報告

平成 23 年 7 月 7 日(木) 曇り

## 会長挨拶

会長 三村昌暉

### 第27期の始めにあたり

本日は雨空ですが、七夕です。本来は旧暦の7月7日(今年は8月6日)の夜に行われていたもので、もとは、お盆行事の一環で、精霊棚とその幡を安置するのが7日の夕方であることから七日の夕で「七夕」と書いて「たなばた」と発音するようになったと言われています。七夕に降る雨を「催涙雨」といい、織姫と彦星が流す涙だと伝えられています。そう知ると本日の雨も趣を感じます。又、天の川がきれいに見えるのは旧暦の七夕時のようです。それは月明かりの関係で、旧暦の七夕の月は上限の月で天の川が良く見えるそうです。

さて、前年度会長長崎政直さん、御子柴文男幹事さん他役員および理事委員長の皆様、一年間有り難う御座いました。

本日より、第27期の始まりですが、創立時の気概”諏訪の湖を心の鏡として研鑽を深め奉仕の誠を尽くそう“を常に心に言い聞かせ、職務が全う出来る様、努力を惜しまないつもりです。



詳細は、クラブ計画書の会長指針をご一読願いたいと思いますが、27期の最重点行動計画は、会員増強です。私が委員長となる会員増強特別委員会を設置しましたが、切迫した当クラブの現状をご理解いただき、全会員の知恵と熱意とご協力を切にお願い致します。どのようにすれば会員各位の情熱が結集できるか、私に課せられた重要な課題と考えています。

委員会の立場で、会員増強に取り組むアイデアをお持ちで実践したいと考える委員長さんもおられます。困難な時代を言い訳にせず目標に向かって取り組みたいと思います。

本日の例会は、第27期の事業計画の発表です。主役は、各委員長さん達で御座いますので、会長挨拶は短めに終わらせていただきます。

全幅の信頼を寄せる、高山幹事さんと二人三脚で一年間がんばりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

## ◇幹事報告◇

### 【理事会報告】

#### 1) 7月例会プログラム

7/7 新年度役員挨拶・第27期各事業計画の発表[会長・幹事]

7/14 サンコー英語塾小林茂塾長による講演[国際奉仕]

7/21 奥村剛職業奉仕委員長卓話「職業奉仕とは」[職業奉仕]

7/28「社会奉仕とは」小林委員長の卓話[社会奉仕]

#### 2) 7/23(土)インターア外地区大会に高林委員長・小松孝弘・山崎・高木小里・華奈さんの5名が参加します

3) 市民新聞から暑中見舞い広告の件、8月初旬掲載で掲載料 18,000 円/1 回

4) 年会費前期分 105,000 円の納入についての通知をいたします。

5) クラブ計画書が完成し、レターBOXに入れました



### ■ニコニコBOX

|     |         |
|-----|---------|
| 26名 | 42,000円 |
| 累計  | 42,000円 |
| 目標額 | 130万円   |
| 達成率 | 3.2%    |

### ■出席報告

|      |       |
|------|-------|
| 会員数  | 34名   |
| 出席対象 | 34名   |
| 出席者数 | 27名   |
| 出席率  | 79.4% |
| 前回修正 | 91.4% |

### ■今週のこトば

三村丸の船出  
大いに盛り上がりましょう  
小林聖仁

### ■次回のプログラム

7月21日  
卓話例会  
講師 奥村強 第2600地区  
職業奉仕委員長



- 6)7～9 月末まで「クールビズ」ということであまり乱れない程度  
の自由服装  
7)例会場および事務局の移動がよいよ本格検討の段階になりました

### 【受領文書】

- 1.クラブ計画書＝諏訪RC・岡谷エコーRC・大津中央RC
- 2.ウィークリー＝岡谷RC・諏訪RC・大津中央RC
- 3.都筑文男ガバナー事務所＝ダム・セツタイ運動の依頼
- 4.ロータリー米山記念奨学会＝「世話クラブ補助金」のご案内および寄付金の依頼

### 事務局より

諏訪商工会議所より「諏訪の長い夜」のチケットをお預かりしています。

ご利用の方は事務局までお申し出ください

### 第1230回例会 事業計画発表

担当 会長、幹事

### 【クラブ奉仕委員会】

当委員会はロータリークラブの中でも多数のプログラムを抱えております。

今期は会長指針の第一目標でもある[会員増強]に繋がるプログラムを考えると共に出席率の向上をより一層目指したいと思っておりますので、会員の皆の御 協力を切にお願い致します。

#### 1. 出席

前年度の事業の継続をしながら、高出席率例会の企画、他クラブへのメイクアップの推奨等を行いたいと思っております。

#### 2. ニコニコBOX

目標額130万円に対して会員の御協力を求めて参ります。

#### 3. 親睦

会員減少、現在の経済状況の中で、会員に自己負担をお願いする事については大変心苦しく思っておりますが、クリスマス例会・お花見例会3クラブ合同例会・夜間例会等マンネリ化にならないよう実施したいと思っております。

#### 4. プログラム立案

会長指針に基づいたテーマを立案し、品位を持ったプログラムを作成し他委員会とのリンクを考え運営したいと思っております



原委員長欠席のため、植松副委員長が原稿を朗読しました

### 【職業奉仕委員会】

職業奉仕がロータリーの核と言われています。四つのテスト、ロータリーの綱領等、ロータリーの基本理念に基づいて「職業奉仕とは何か」の理解を深めるために、皆で勉強し、職業奉仕活動をしていきたいと思っております。

1. 会員による卓話
2. 外部講師による卓話
3. 自己研鑽道場(職業倫理について)
4. 職場訪問
5. 健康診断
6. 会員選考 退会防止 会員増強委員会協力

### 北原厚子委員長



北原委員長欠席のため望月副委員長が発表

### 【社会奉仕委員会】

### 小林強委員長

1.前期長期事業として、5年計画でブナの植林を完了する事を決定した。計画に従い日程表を作成し下諏訪中学校の生徒と協働事業として進める。

水源地一帯をブナの林に育成し、以後は下草整備などの簡単な作業に止める。

2.森林税を活用し個人所有林などの間伐を行う「みんなで支える里山整備事業」は東山田熊野

神社地域一帯を平成 24 年度に着手できる目安がつかまりました。

諏訪市大和地区も森山市会議員の主導で同じく平成 24 年にはスタートします。当初は諏訪湖ロータリー・クラブとして積極的に援助し里山整備事業を軌道に乗せる。

3.東日本大震災の復興には長期的な援助が必要となります。阪神淡路大震災で 2680 地区に寄せられた義捐金が国内外合わせて8億3千百万円でした。

今回の災害は規模も大きく、広範囲に及ぶ地域を考慮し、被災地区の要請に応える体制が必要となります。様々なチャリティー活動を考案し、当分の間クラブ活動を縮小する等して、被災地の復興に向け協力する。

4.ロータリー・クラブの奉仕活動とロータリアンの奉仕活動を再確認する担当例会を行う。

5.諏訪湖クラブ及び湖浄連と連携を図り、諏訪湖浄化活動を推進する。

6.環境の日清掃活動、諏訪湖アダプトプログラム活動を継続する。





## 【国際奉仕委員会】

溝口幸二委員長

基本的には、世界社会奉仕が当委員会の大きな柱です。

これまで7年間継続してきたセブ島支援の中で継続すべき事業、終結する事業、新規事業を検討する時期に来ているので、

2011年6月中に前期委員会のメンバーと共に、セブ島に行き、現地調査をして結論を出します。

第26期に完結したクリーンウォータープロジェクトに続くマッチング・グラント事業(MG)については、他地区のMG事業を調査研究したうえで、委員会で検討します。出来得れば地区としてMGが企画され、それに賛同したクラブが合同事業として行なったほうが有意義だと考えています。

R財団、米山記念奨学会への寄付については、地区目標を達成させる為、会員各位のご理解、ご協力をお願いいたします。

## 【新世代奉仕委員会】

高林一紀委員長

2010年4月の規定審議会において、新世代活動は新世代奉仕と名称を変え従来の四大奉仕部門(クラブ奉仕職業奉仕国際奉仕)に加え第五の奉仕部門として位置付けられました。これまでに以上で新世代の事業・役割は重要なものとなりました。

会長の新世代への指針を尊重し、次代を担う青少年が奉仕と思いやりの心を持った心豊かな青少年に成長することを願いながら、新世代に夢を託し常に真摯に向かい合い交流し活動の応援をしたいと考えます。継続事業については検証しながら充実した活動をしていきたいと思っています。

1.新世代奉仕の意義と重要性について理解促進を図る

2.担当例会の実施

3.地域青少年活動への支援及び交流

①下諏訪中学校への講師派遣

②下諏訪中学生徒との交流と協働奉仕活動

③ボーイスカウト、ガールスカウトへの支援と協働奉仕活動

④諏訪ローターアクトとの交流

4.地区事業への参加協力

インターアクトローターアクトライラ

5.各委員会と連携しての共同事業

6.古切手・書き損じ葉書の収集



## 【クラブ会報・雑誌広報委員会】

海老原十三委員長

ウィークリーの発行は、電子化された原稿提出によりウィークリー作成の簡素化、効率化をより一層進めるとともに、RI会長からのメッセージの中にある「家族・継続・変化」のうち家族をテーマにした特色あるウィークリー作りを目指します。

また、諏訪湖RC30周年へ向けて、内外への広報活動を活発化させたいと思います。委員と会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

①ウィークリーの刊行

イ)講師へのウィークリー原稿依頼書の作成

ロ)メール、電子媒体などによるデータ化した原稿提出の促進

ハ)家族をテーマにした、特色ある紙面作り

②Web管理と、情報の更新およびインターネットを使った広報活動

③「ロータリーの友」の活用(公共広報活動)

④各種行事の写真記録と保存

## 【SAA】

なごやかで秩序正しく、しかも品格ある例会でありたい。来賓やビジターを暖かくお迎えし、良い印象を与え、当クラブの活動が理解されるよう努めます。

例会出席が会員お互いにとって、居心地よく楽しく過ごせるように心がけ、会長・幹事・各委員会との連絡を密にして円滑な例会運営に努力してまいります。

## 【会員増強特別委員会】

三村昌暉委員長

会員増強の重要性は、クラブが存続する限り尽きることのない課題と言える。今期の目標はクラブ計画書に示したとおり、10名とした。

会員各位の知恵やアイデアを取り入れ、いろんな角度からトライしてみたい。

細則を変更し、サポーター会員制度を取り入れ、会員拡大を図るクラブもあるようである。我がクラブでも検討に値すると考えている。共通の課題を持つクラブ同士の情報交換も行っていきたい。

どんな情報、アイデアでも気がついた方は、お伝えいただきたい。



小林聖仁委員長



例会進行中の小林SAA

